

第52回京都コンテスト コンテストレビュー

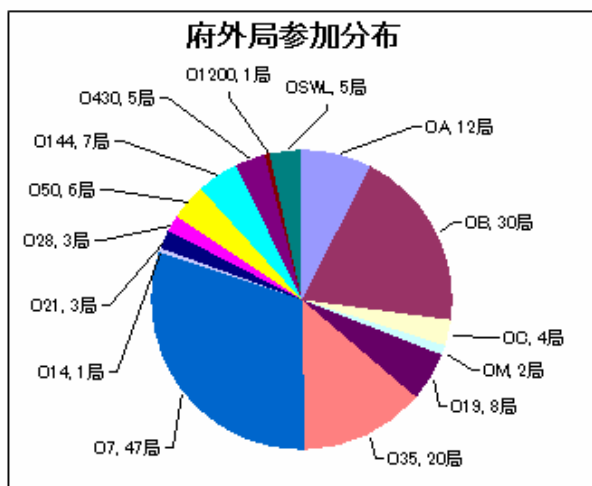
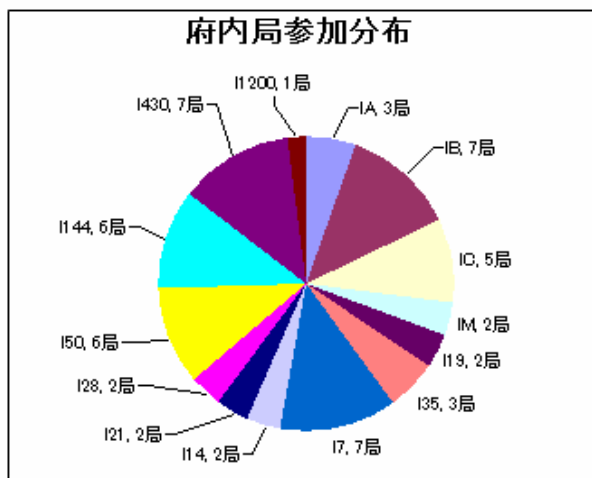
2008年2月2日(土) 20:00~2月3日(日) 16:00

京都コンテストは1.9MHzから5600MHzと幅広く各バンドで運用時間が区切られているためマルチバンドで参加し、上位に入賞するためにはどのような時間配分でどのバンドに参加をするかが入賞の鍵になります。今回、府内局各部門1位の方のログ情報を元にコンテストレビューを作成しました。次年度以降のコンテスト参加時にご活用下さい。

参加局数の分布について

第52回京都コンテストでは府内局の参加は55局(昨年比+2局)でした。ここ数年の参加がない部門に対するPRのお陰かどうかは分かりませんが、前回参加局がなかった部門が減り、府内局SWL部門、2400MHz、5600MHz以外はエントリー局がありました。(前年度は府内局14MHz、2400MHz、5600MHz部門が参加者なし)

参加部門	参加部門コード	参加局数
府内局マルチA部門	IA	3
府内局マルチB部門	IB	7
府内局マルチC部門	IC	5
府内局マルチマルチ部門	IM	2
府内局1.9MHz部門	I19	2
府内局3.5MHz部門	I35	3
府内局7MHz部門	I7	7
府内局14MHz部門	I14	2
府内局21MHz部門	I21	2
府内局28MHz部門	I28	2
府内局50MHz部門	I50	6
府内局144MHz部門	I144	6
府内局430MHz部門	I430	7
府内局1200MHz部門	I1200	1
府外局マルチA部門	OA	12
府外局マルチB部門	OB	30
府外局マルチC部門	OC	4
府外局マルチマルチ部門	OM	2
府外局1.9MHz部門	O19	8
府外局3.5MHz部門	O35	20
府外局7MHz部門	O7	47
府外局14MHz部門	O14	1
府外局21MHz部門	O21	3
府外局28MHz部門	O28	3
府外局50MHz部門	O50	6
府外局144MHz部門	O144	7
府外局430MHz部門	O430	5
府外局1200MHz部門	O1200	1
府外局SWL部門	OSWL	5

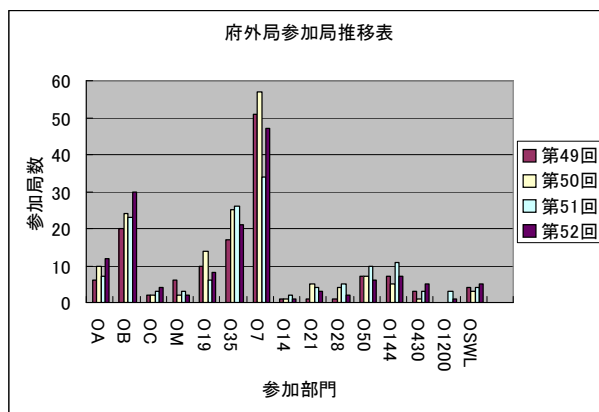
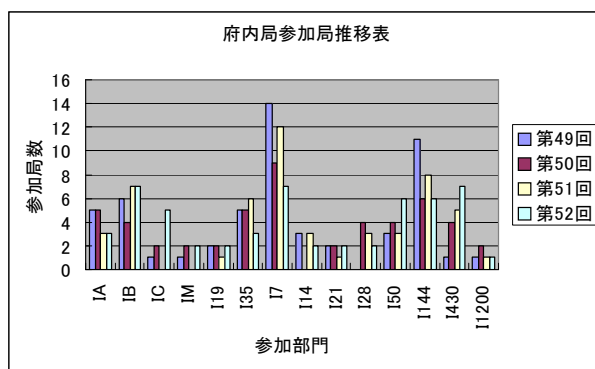


過去のコンテスト参加局推移

今回のコンテストは、全国的に大雪が降る悪天候ではありましたが、府内局の参加数は第49回と同様の55局まで増えました。また部門によってはエントリーがないなど参加部門を考えれば十分に賞する可能性はあります。

それから今年の特徴として、府外局の144MHzを除くハイバンドへの参加が増えています。京都府の近県局が有利となっていますが三重県のJA2MWV局、愛知県のJR2JZO局からもログを頂いております。冬場のコンテストの為、あまりハイバンドでのマルチ獲得は厳しいですが移動地によっては思わぬマルチの取得が期待できるでしょう。(マルチ分析は入賞者のログ分析で行います。)また、府外局ではマルチB部門30局の参加者があり激戦部門となっております。昨年度大きく参加局を落とした7MHz部門も34局から47局へ増加しました。

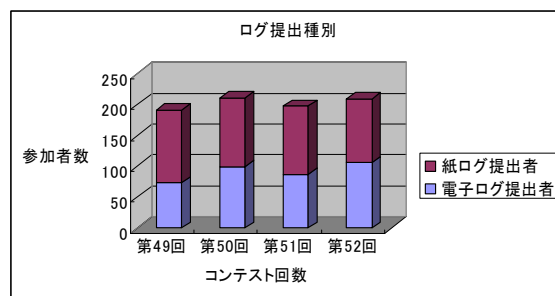
参加部門		部門コード	第49回	第50回	第51回	第52回
府内局	マルチA部門	IA	5	5	3	3
	マルチB部門	IB	6	4	7	7
	マルチC部門	IC	1	2	0	5
	マルチオペ部門	IM	1	2	0	2
	1.9MHz部門	I19	2	2	1	2
	3.5MHz部門	I35	5	5	6	3
	7MHz部門	I7	14	9	12	7
	14MHz部門	I14	3	0	3	2
	21MHz部門	I21	2	2	1	2
	28MHz部門	I28	0	4	3	2
	50MHz部門	I50	3	4	3	6
	144MHz部門	I144	11	6	8	6
	430MHz部門	I430	1	4	5	7
	1200MHz部門	I1200	1	2	1	1
	小計		55	51	53	55
府外局	マルチA部門	OA	6	10	7	12
	マルチB部門	OB	20	24	23	30
	マルチC部門	OC	2	2	3	4
	マルチオペ部門	OM	6	2	3	2
	1.9MHz部門	O19	10	14	6	8
	3.5MHz部門	O35	17	25	26	21
	7MHz部門	O7	51	57	34	47
	14MHz部門	O14	1	1	2	1
	21MHz部門	O21	1	5	4	3
	28MHz部門	O28	1	4	5	2
	50MHz部門	O50	7	7	10	6
	144MHz部門	O144	7	5	11	7
	430MHz部門	O430	3	1	3	5
	1200MHz部門	O1200	0	0	3	1
	SWL部門	OSWL	4	3	4	5
小計		136	160	144	154	
合計		191	211	197	209	



ログ提出方法の種別は以下の通りです。

約半数が紙ログですが、今年は初めて電子ログ提出者が紙ログ提出者を上回りました。

	第49回	第50回	第51回	第52回
電子ログ提出者	73	99	86	106
紙ログ提出者	118	112	111	103



コンテスト参戦記

— コンテスト参戦記寄稿にあたり —

京都コンテスト入賞者から「入賞の秘訣とコンテストを楽しむノウハウ」を伺い、来年度以降の京都コンテストの参加者の方々に「入賞できる運用方法」としてご参考にしていただければと思い上位入賞者に寄稿のご協力をお願いしました。寄稿いただいた局長様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

----- 以下回答です。 -----

<府内局>

シングルオペマルチバンド A 部門 1 位

・コールサイン JI3JWV

・使用機材 リグ: HF~50Mhz FT-2000D VHF TS-790S
アンテナ: HF~50Mhz DP 144Mhz 8ELE YAGI
パソコン: コンテスト時は未使用で紙ログでした。

・なぜこの部門を選んだか

今年の上級ライセンスを取得して、オールバンドにQRVできるようになりました。そこで、過去にマルチBで優勝したことがあった為、まだ入賞経験の無いマルチAでの参加となりました。

・獲得目標

目標は、とにかく多くの局と交信することと、得点の高い府内局を探してQSOすることに重点を置いていました。

・改善, 強化点

マルチBでは、3.5:7:144Mhzで以前参加してたのですが、今年は新しく1.9Mhzと14Mhzのワイヤーを張りました。特に、当局の場所は山間部の為、ローバンドがメインになりますので、1.9MhzのフルサイズDPで参加しました。

・コンテスト当日の行動

スタート10分前からリグの前でスタンバイしてましたが、7Mhzや3.5Mhzでは、周波数がなかなか確保できず焦ってしまいました。

・反省点

430Mhzの時間帯を間違っまして、ワッチした時はバンド内が静まり返ってました。あとは、CWでパイルにあった時、パイルの経験が無いので、捌くのに時間を要してしまいました。下手なCWでみなさんにご迷惑をかけたと思います。

・次回参加の際のアドバイス

私がアドバイス出来る立場ではございませんが、感じたことを少し記載いたします。昨年までは50Wでの参加でしたが、今年初めて200Wで運用いたしました。やはり出力の差は大きいと感じました。特にQRMIに弱いSSBでの運用では、パワーの差があると思います。QRP部門があれば別ですが…。最後に、コールしていただいたみなさんに感謝いたしますとともに、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

シングルオペマルチバンド C 部門 1 位

・コールサイン JA9XAT/3

・使用機材 リグ: TS690D, FT817, TM455, IC1271
アンテナ: すべてモバイルホイップ
(HF~430 まで 7 バンドで 1 本、1200 は別に用意)
パソコン: ありません(ログは手書き、キーは縦打ちです)

・なぜこの部門を選んだか

府内局で参加する以上、“どんどん呼ばれる快感”を味わいたいと思ったので。

・獲得目標

「オールバンド、モバイルホイップのみで参加し、府内局マルチ A 部門で上位入賞！」だったのですが、結果として HF の得点がよくなかったため、マルチ C にしました

・改善, 強化点

1. 9メガのモバイルホイップがほしい。
2. 前夜から移動しても奥さんに怒られないような家庭環境を作りたい。(既に崩壊していますので)

・準備

冬の移動の鉄則、タイヤはスタッドレスに履き替える(北陸では12月から冬タイヤです)

・コンテスト当日の行動&スタートから終了まで

1日目、20時、ローバンドをワッチしてみると、どうやらこちらの移動予定地に先客があるよう。先客もオールバンド参加の常連さんなので、バッティングしないよう、移動先を変更することにし、就寝。2日目、なんと予定よりも1時間遅く目が覚め、しかも外は雪景色！山は真っ白になっているではないか！いつもの移動先へ車を向けてみたものの、標高が高くなるにつれ雪が深くなり、途中で断念。急遽、移動ポイントを変更して、再度、雪道をスタッドレスパワーで駆け上がり、なんとか電波を出し始めたものの、時刻は9時近くになっていた。途中、通行人の方から「よく車で上がって来れたね～」とねぎらいの言葉をいただきながらも、心の中では「年に一度のコンテストのためです」と答えていた私。このコンテストはバンドごとの時間帯が短いので、スピーディで楽しい。マルチ参加の局を次々と追いかけてながら、バンドチェンジ。1200メガにも参加して、あっという間に終わってしまいました。

・反省点

「あくまでもモービルホイップによる参加」にこだわっているのですが、これ以上、交信局数を伸ばすのは難しいと思うが、もっと QSO したかった。7メガから430メガまで、一本のアンテナ(確かコメントの CA-HV とかいう品物です)で参加しているのは私ぐらいでしょうか。3.5メガのアンテナも持っているのですが、あとは1.9メガだけです。HI

・次回参加の際のアドバイス

移動する方は冬タイヤを用意しましょう。天気予報を信じましょう。

次回も参加したいと思います。各局、ありがとうございました。73

<府外局>

シングルオペマルチバンド A 部門 1 位

・コールサイン JA3RSJ

・使用機材

リグ: FT920, IC910D

アンテナ: 1.9~3.5Mhz:短縮型 DP, 7Mhz:1/2 波長 DP

14~28Mhz:3ele. 50~1200Mhz:八木いずれもタワー上 15mh

パソコン: IBM の中古パソコンを使用

・なぜこの部門を選んだか

私か大体が HF の下の方のバンドを選択しますが、ローカルコンテストは局数が稼げませんのでマルチを選択し、エントリーしております。

・獲得目標

いつもですが、全く目標は持っておりません。空と体のコンディションでエントリーしております。

・改善, 強化点

144Mhz から上の ANT が今一步なのでもっと強化したいと常に感じています。

・準備

特に、これといって準備は全くしておりません。が、毎週波を出して飛び具合あるいは時間帯別の空のコンディションを概ね把握してコンテストに望んでいます。

・コンテスト当日の行動

普通通りで参加しています。かかってきそうな電話等はこちらからあらかじめしているかもし知れません。

・スタートから終了まで

ローカルコンテストは1にワッチ、2にワッチです。

・反省点

特になし

・次回参加の際のアドバイス

アクティブに出て、相手局にコールサインを覚えて頂いたら相手局に良く取って頂けるようです。

意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。文字の間違いを修正または、語句の統一を行っているほかは記入された通りに掲載しております。ぜひ、2009年も京都コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想を書いていただき、写真なども寄せていただきたいと思います。

＜府内局＞ マルチバンド A 部門

JF3PLF:

今年は7MHzが好調でしたね。それでも、例年の1位の方の得点に届かないということは、皆さんコンディションの如何に関わらず、200局以上交信しておられたんですね。ビックリ。

マルチバンド C 部門

JA3RR:

新年おめでとうございます。私こと米寿の京都コンテストを元気に楽しませていただきました。然し相変わらずの難聴障害で苦労しながらでした。後、何年参加できるか神のみぞ知るですが終生アマチュア無線だけは楽しんで参りたいと思います。

JA9XAT/3:

ボランティア番号を2桁で送信する方と3桁で送信される方がいましたが、ログは受信したままで記入しておきます。7つのバンドで参加しましたが、そのうち6バンドでQSOした局もあり、皆さんのアクティブさにびっくり。大雪の為予定地を急遽変更するはめになり、1時間ムダになってしまいましたがとても面白いコンテストでした。

JF3WNO/3:

雪のため、のんびり出発、お手軽運用でした。7MHz分はチェックログとして提出します。

JM3DUR:

集計ご苦労様です。体調が悪くあまり出られませんでした。来年もがんばって声を出そうと思います。

1.9MHz 部門

J16DUE/3:

今回は雪で当初オールバンドで参加予定がシングルバンドでの参加でした。来年は頑張っってオールバンド頑張りたいと思います。

3.5MHz 部門

J16DUE/3:

今回は雪のため当初オールバンドで参加予定がシングルバンドでの参加でした。来年は頑張っってオールバンド頑張りたいと思います。

7MHz 部門

JA4JY/3:

近距離の局はスキップ(5と9エリアは合計1局!)していましたが、コンテストを楽しむことができました。でも交信局数は年々減ってきており、一寸淋しい感じがします。ログの集計大変ですが宜しくお願いします。

J13HIY:

得点ご集計よろしくお願いいたします。

JK3LZI:

冬季の雪国からの参加は大変です。アンテナに雪がくっついたり最悪です。とても大きなハンディを感じます。

JL3CRS:

コンテスト運営お疲れさまです。午後になるとスキップが激しい7MHzは出来ればもう少し早い時間帯のスタートを望みます。

28MHz 部門

JA4JY/3:

28MHzはコンディションが悪く近くの局しかできませんでした。残念でした。

JL3CRS:

コンテスト運営お疲れさまです。大雪で移動局が少なかったですが、普段静かな28MHzも賑わっていました。

50MHz 部門

JG3OUO:

50MHz以上のバンドには季節コンディションが悪い。もう少しシーズンを検討してみてもは。

J13LYG/3:

積雪の中、例年の様にタイヤチェーンをはいての運用でしたが、50MHzの運用時間帯は通常の当局の運用時間帯とも一致し、通年を通して一番好きなコンテストです。

JO3OOP/3:

昨年11月に開局して、初参加でしたが、雪の中の設営で、スタートが遅れてしまいました。

144MHz 部門

JN3GYJ/3:

初参加です。

JN3RAZ:

ニューカムマルチの係数「×3」は大きすぎではないでしょうか。係数の見直し、またはニューカム部門の新設など、規約の見直しをお願いします。

JO3OOP/3:

昨年11月に開局して、初参加です。よろしくお願います。

JO3OWY/3:

免許状が着て10日目、初めてのコンテスト参加。朝6時に父と家を出発。雪が降る中、大峰山を目指しました。山道に入ると雪の重みで竹が道をふさいでいて何度も除けながら登りました。不慣れなオペレータでしたが、沢山の局と交信できて良かったです。

430MHz 部門

JF3LGC:

CM先の駐車場からQRVしました。

JF4CAD/3:

V/UHFの運用時間の再検討をお願いします。本年のルールですと144MHzのスタートから1200MHzの終了まで9時間移動地にいる必要があります。寒い中これだけの長時間は無理です。昼休みを廃止し1200MHzを移すなどご検討ください。

430MHz 部門

JO3OWX:

両親がアマチュア無線をしていたので、私も免許を取りました。開局して10日余りでコンテスト参加は大変でした。でも、沢山の局と交信できて良かったです。

<府外局> マルチバンド A 部門

JA3AA:

所用のためフルタイムの運用が出来ず残念でした。京都コンテストの今後の益々のご盛会をお祈りします。

JA3EOE:

初めて参加しました。

JA3RK:

京都局と9バンドでお相手頂きました、各局有難う御座いました。

JA3RSJ:

京都府各局、ありがとうございます。特に複数バンドでお会いした局長さんTKS、7MHzはコンディションが悪かったですね。本年もよろしくお願い致します。

JA6BIF:

楽しいコンテスト有難う御座いました。ただ要望としてマルチの教え方をもっと判りやすく簡便になりませんか

JF2FIU:

今年も参加できてよかったです、しかし近距離スキップ厳しく苦労したQSOもしばしばでした。交信して頂いた京都府内各局ありがとうございました。来年もよろしく願います。

JG2CNS/3:

集計お疲れ様です。雪が降って寒い中、移動局の方お疲れ様でした。

マルチバンド B 部門

JA0ADY:

5年ぶりの参加になりました。提出書類を今年から「電子ログ」にしようとしてテストを繰り返しています。不備がありましたらお知らせください

JA0GZ:

コンディションが悪く12局で終わりました。

JA0ITY:

21M,28M,50M 全く聞こえませんでした。集計ご苦労様です。結果希望します。封筒同封しました。

JA1AAT:

3.5or7M CWで参加。14M,21M,28M 入感なし。聞こえませんでした。参加証お願いします。また次回もQRVします。73!

JA1CC:

14,21,28MHz は全く入感ありませんでした。CW だけですが、3.5 と7MHz は聞こえた局全部とQSOできたと思っていますが、これだけでした。

JA1COP:

他のバンドは聞こえませんでした。CW部門の新設をお願いします。電子メールでの申請でHPを見ましたが、特に掲載がありませんでした。

JA2AFX:

7MHzのコンディションは猫の目の様に変化が激しくて、ご迷惑をお掛けしました。

JA4BDY:

今回はほぼフルタイム参加できるので、勇んで参加しました。しかし、7と3.5のCWだけでは暇を持て余しました。

JA7AEM:

昨年と同じ程度しかできませんでした。

JG2REJ:

14,21,28,50MHz の QRV を!

JH0TJN:

久しぶりに、京都コンテスト参加しました。

JH2CMH:

所用の為短時間の参加になり、残念でした。

JH3LXM:

集計いつもご苦労様です。

JH4QJP:

コンディションは良くなかった様です。短時間ですが楽しむ事が出来ました。集計宜しくお願い致します

JH6KDY:

集計ご苦労様です、コンディションが余り良くなって、少ししかできませんでした。参加できて1日過ごせました、又宜しく願います。

JJ0FSM:

集計ご苦労様です。

JN3ANO:

各局交信ありがとうございました。

マルチバンド C 部門

JA7ZP:

来年も参加し、もう少し局数をとりたいです。

JH3SKC:

今年も参加させていただきました。京都各局ありがとうございました。

マルチオペマルチバンド部門

J11YUA:

集計お疲れ様です。次回もよろしく願います。

1.9MHz 部門

JA1XEM:

短時間でしたが楽しめました。

JA3QOS:

今年はLOWバンドにエントリーしました。

JA4GWE:

短時間でしたが楽しく参加させてもらいました。

JA6FOF:

電信部門を設けて下さい。

JF2MVI:

初めてログ提出となります。AJA を埋めるのに参加はしていました。

JH4JUK:

前半の部でしか参加できませんでした。

3.5MHz 部門

JA0DVE:

HF帯コンディションもありますが、肝心な京都府内局の参加が少なく残念です。時間ごとに使用バンドを指定するのでなく、18時間程度でどのバンドでも参加できるよう変更を希望します。

JA3QG:

主催地局の参加が少ないように思いましたが、Condx のせいかな……

JA3QOS:

今年はLOWバンドにエントリーしました。得点0の部分はチェックログです。

JE1MPR/1:

集計ご苦労様です。楽しめました。

JE7ENK/7:

3.5MHzでは細かいQSBがありました。

JH4JUK:

前半の部でしか参加できませんでした。

J14JGD:

コンディション悪いですね。少しですが提出しておきます。

JR3AAZ:

集計お世話になります。今年は、1.9と28にも参加させていただきましたが、得点の多い3.5と21でエントリーさせていただきませう。28が昨年より伸びず残念でした。

JR5PPN:

いつもお世話になります。少ない交信局数ですがログを提出させていただきます。本年もよろしくお願ひします。次回も楽しみにしています。

JS3OMH/3:

京都府に近い山からどれだけ交信できるかやってみました。なかなか厳しかったです。天候も雪で、アンテナ設営も思うようにいきませんが、楽しめました。

7MHz 部門

7L3EBJ/QRP:

集計ご苦労様です。QRPにて参加させていただきました。

7N2JZT:

いつもとは違うスタイルのナンバーを受信することは、よいトレーニングになったのではないかと思います。南岸低気圧の「いたずら」が参加数に大きく影響したことでしよう。

JA0DVE:

HF帯コンディションもありますが、肝心な京都府内局の参加が少なく残念です。

JA1FWY:

お世話になります。少しの時間参加しましたが、なかなかきこえませんでした。宜しくお願ひ致します。

JA1HIY:

お相手有難うございました。

JA1IQK:

普段あまりQSOできない京都府の多くの局と交信できて喜んでいます。

JA1XEM:

雪のぱらつく中コンテストで楽しめました。

JE3BXY:

初めてエントリーさせていただきました。

JE7ENK/7:

短時間ではありますが、参加させていただきます。

JF2WME:

集計ご苦労様です。短時間ではありますが、参加させていただきます。7MHzは本当に混信がひどいですね！

JG1GCO:

マルチが複数あるのは聞き取るのは大変ですが楽しめますね。

JH6WXF:

お疲れ様です。コンテスト中 7MHz CWにてこちらに聞こえたのは交信いただいた10局のみでしたが京都各局とのFBなCW-QSOができました。有難うございました。

JH7KSU:

京都各局に弱い電波をとって頂きました。またよろしくお願ひ致します。

J11IF:

アクティブな府内局の皆さんのおかげで、今年も無事にログ提出が出来ました。アクティビティの低い記念局、特別局もがんばっていただきたいと思ひます。Hi

J14JGD:

コンディション上がったり下がったりです。少しですが提出しておきます。

JK1DMT:

短時間、CWのみで参加させていただきました。

JL7FBV:

集計ご苦労様です。

JN1AEQ:

集計お疲れ様です。京都各局とQSOが出来て楽しかったです。

JN4JJJ:

今年も楽京都コンテストに参加させて頂きました。

JN4UUS:

CWやるのを忘れていました。また来年がんばります。

JO7NGV:

3日午前中からワッチしましたが、14、21、28MHzで当地(宮城県)への入感はありませんでした。

JR4FLW/4:

今年も何とか参加でき、得点は昨年よりちょっとUPしました。

JR5PPN:

いつもお世話になります。少ない交信局数ですがログを提出させていただきます。本年もよろしくお願ひします。次回も楽しみにしています

JS3COV:

時間が無くて短時間の参加となりました、次回はロングに頑張ります。

21MHz 部門

JA3IUB:

目標の10局をクワイヤー出来、2ndマルチも4つ出来、少し点数が上がりました。

JR3AAZ:

集計お世話になります。今年は、1.9と28にも参加させていただきましたが、得点の多い3.5と21でエントリーさせていただきます。28が昨年より伸びず残念でした。

JR3SZZ/3:

あいにくの天気の中、参加局ご苦労様でした。

28MHz 部門

JA3IUB:

目標の10局が、やっと出来ました。当日は雪でアンテナのSWRが高く、TVIが気になりました。また、あまり聞こえず今年も相変わらず局数が延びませんでした。

JJ3TTH:

今年は京都の参加局が多く、結構呼ばれて盛況でした。

JR3SZZ/3:

あいにくの天気の中、参加局ご苦労様でした。

50MHz 部門

JA3WDL:

寒い中での府内局の運用、ご苦労様でした。

JF3NAO:

今回、初参加となります。さすがに2月の50MHzは、閑散そのものでした。コンテスト中、電信4局、電話6局としか交信出来ませんでした。ログシート、提出致します。集計等の作業、本当にご苦労様です。今後ともよろしく願います。

JN4PMO/4:

山に上がると雪があり、どうなることかと思いましたが、何とか3局交信できました。

144MHz 部門

JA5ND/3:

1.タイムトライアル 144MHzで2時間の内1時間余のみでした。

JH5DAH:

訂正印が多くありみぐるしいサマリーシートですが、よろしく願致します。

JL2PCI/3:

集計ご苦労様です。2日の夜は3.5MHz 1/2λ DPはSWR、NG。朝アンテナを見ると12Dくらいの同軸の太さになっていました。7MHz 1/2λ DPも同じく雪がとけたのは夕方でした。

JO3AYN:

雪の中、多くの移動局がQRVして頂いたおかげで自己最高の交信局数となりました。

430MHz 部門

JH4RAL/3:

乗り込みを予定していたのですが、京滋バイパスが通行止めになるほどの雪のためあきらめました。名神沿い空き地(一般道)からモバイルホイップで参加してみました。

JO3AYN:

1時間という短い時間でしたが集中して参加できました。

JS3OMH/3:

府内局の参加が少なく呼びまわりがすぐに終わってしまいました。またマルチが付くポランディア番号をお持ちの局長さんが沢山でいらっしやればスピード感があって楽しかったと思います。(私が聞いた限りではCQコンテストを出している局長さんはいらっしやらなかったような気がします)来年は府内であるか、兵庫県からの参加に拘るか悩んでみたいと思います。

SWL 部門

JA1-22825

参加できてうれしく思います。1.9MHzはNGでした。

JA2-9315:

府内局が多く参加されていたので、良い受信の訓練ができました。ありがとうございました。

JA8-1721:

いつも思うが電話参加者 CQ の場合は「こちらは京都市右京区」とかアナウンス出来て、呼ぶ側からすぐに確認しやすいが、電信参加者では CQ 時に運用地点が確認できない?(良い方法はないでしょうか)でも SWL 部門があるのは非常に嬉しく思います。

編集後記

昨年に引き続き第52回京都コンテストのコンテストレビューをお届けします。今年の京都コンテストはいかがでしたでしょうか。大雪の悪天候の中、多くの方にご参加いただきありがとうございました。今年のコンテスト参加者は昨年にくらべ、府内局は一時期の参加数に戻りました。しかし、府外局の参加者は若干増加したものの、ここ数年の記録であります第50回にはわずかに届かない結果となりました。昨年、皆さんから頂いたご意見をもとに各バンドの開催時間の見直しを行いました。V/UHF参加者の移動運用時間が9時間になるなど課題を残す結果となってしまいました。今回の課題は次回の規約検討に生かして行きたいと思います。また新しいコンテストレビューの取り組みとして「コンテスト参戦記」を編集しました。来年参加される方は今年の入賞者の参加の様様を参考にぜひ入賞できるようがんばってください。では来年の京都コンテストでお会いできることを楽しみにしています。

第52回京都コンテスト

コンテストレビュー

発行：JARL 京都府支部, JARL 京都クラブ

(kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)

発行日：2008 年7 月

編集者：J I 6 D U E / 3 野原 英則